

西部・東部医療センターの市立大学附属病院への移行について 実施の延期と市立病院としての機能の存続を求める緊急要請署名

2021年 月 日

名古屋市長 河村たかし様

<要請趣旨>

2020年12月9日、市議会において関連する条例等が議決され、2021年4月に名古屋市西部医療センター・東部医療センターが市立大学附属病院となることが決まりました。

市立大学附属病院への移行は、昨年度の当初の段階では2022年4月実施の予定で進められていたものの、8月の市議会の議論、河村市長の指示などにより、突然1年早く2021年4月の実施となったものです。

新型コロナウイルス感染症は8月の市議会で議論された時の状況と違い、第3波といわれるほど深刻な感染拡大が続き、医療体制は逼迫しています。特に、東部医療センターは感染症指定病院として名古屋市の感染症対策の要となる病院です。市民のいのちを守るために、移行の実施は延期し、今は、感染症病棟の拡充、医療スタッフの確保など医療体制の整備に全力をあげる必要があります。

市立病院には、感染症・災害発生時の医療、救急医療、周産期・小児医療など政策医療や不採算医療を担うといった市民のいのちや健康を守る目的・役割があり、市から年間約40億円の補助金が支給されています。大学病院は診療、研究、教育・研修の3つの役割が目的であり市立病院とは違います。将来にわたって現行の補助が維持されるかなど移行後の病院の全体像について市民には全く説明がありません。実施を延期し、市民の意見を聞き、移行後も市立病院としての目的や機能を残すことを明確にすべきです。

<要請項目>

- 1 2021年4月の実施は延期をすること
- 2 移行にあたっては市立病院としての機能を存続すること
- 3 パブリックコメントなど市民の意見を聞く場を設けること

ひとこと

氏名 _____

住所 _____

ご記入いただいた個人情報はこの要請目的以外には使用しません

名古屋の公的医療を守る市民の会

事務局 愛知県社会保障推進協議会 名古屋市熱田区沢下町9-7 労働会館東館301

TEL: (052)889-6921 E-mail: syahokyo@airoren.gr.jp